

平成 28 年 2 月 1 日
株式会社 ミライト

客室設置型タブレット『ee-TaB*® (イータブ・プラス)』を
『レム秋葉原』に導入、2月1日よりサービス開始
増加し続けている外国人旅行者へ秋葉原の魅力をアピール

株式会社ミライト(本社:東京都江東区、代表取締役社長:鈴木正俊)は、客室設置型タブレット『ee-TaB*® (イータブ・プラス)』を千代田区秋葉原にあるホテル『レム秋葉原』(運営:株式会社阪急阪神ホテルズ)の全室(260室)に導入し、2月1日よりサービスを開始します。これにより、『ee-TaB*®』は国内の合計8件のホテル、全1,505室で導入されることとなります。

本サービスは、ミライトとテックファーム株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:千原信悟)が業務提携し開発したもので、ホテルの客室に設置したタブレット端末を通じ、気象やテレビ番組表、電子書籍、ホテル周辺の観光スポットの情報などさまざまなコンテンツを宿泊者向けに提供しています。

東京都心にほど近い秋葉原駅周辺は、世界有数の電気街という従来イメージに加え、アニメーションなどのサブカルチャースポットや大規模免税店の出店拡大などから観光地としての注目度が世界的に高まっています。同駅に直結している『レム秋葉原』は、お客様に良い眠りをお届けするというホスピタリティを提供しており、都心観光地に便利な立地の面からも、海外からの観光客の利用が増加しています。『ee-TaB*®』を導入することで観光客のニーズに合わせた情報を提供することができ、お客様満足度の向上が期待されています。同ホテルはホスピタリティが口コミで評価され、トリップアドバイザー®※1の「エクセレンス認証(Certificate of Excellence)」を5年連続で獲得、「殿堂入り」施設としても認められています。

『ee-TaB*®』は、ホテルごとにコンテンツのカスタマイズができるため、ホテルの立地条件やターゲット層に合わせて最適なメニューをそろえることができます。ホテル客室に配備している各種情報のパンフレットや冊子などを全て電子化して、客室にタイムリーに配信することが可能なため、客室用の印刷物の配備や入替など、業務コストも軽減することができます。

英語のほか中国語や韓国語にも対応し、国籍や年齢を問わず誰もが簡単に操作することができます。さらに、スマートフォンのバーコードリーダーで客室内のタブレット端末で見た店舗に記載されているQRコードを読み取ることで、紹介した店舗へのアクセス情報を入手することなどもできます。

200室以上かつWi-Fi環境があるホテルの場合、初期費用ゼロ※2。1室1台あたりの月額基本サービス利用料のみで導入が可能です。

■ 『ee-TaB*®』の紹介ページ:<http://sls.mrt.mirait.co.jp/specialcontents/eetabplus/>

※1トリップアドバイザー®・・・世界最大級の旅行サイト。口コミによるホテルや旅行に関する情報の比較・評価を世界47カ国の旅行者が利用しています。

※2 基本機能以外のコンテンツサービスをご要望される場合には別途費用が発生します。

* 記載されている会社名および商品名/サービス名は、各社の商標または登録商標です。

【本サービスに関するお問い合わせ先】

株式会社ミライト
イータブ・プラス推進部
TEL: 03-6807-3157 FAX: 03-5548-1075
MAIL: eetab-plus@mirait.co.jp

【本件に関する報道機関からのお問い合わせ先】

株式会社ミライト
経営企画本部 総務部 広報室
TEL: 03-6807-3711 FAX: 03-5546-2962
URL: <http://www.mrt.mirait.co.jp/>

記

『レム秋葉原』での『ee-TaB*®』導入概要

導入システム： 客室設置型タブレット『ee-TaB*®(イータブ・プラス)』

導入ホテル： レム秋葉原
東京都千代田区神田佐久間町 1-6-5 TX 秋葉原阪急ビル
TEL:03-3254-0606
運営会社: 株式会社阪急阪神ホテルズ

導入数： 260 室

提供開始日： 2016 年 2 月 1 日(設定完了後順次サービス開始)

提供コンテンツ： ホテルの館内案内、ホテル周辺、グルメ情報等



『ee-TaB*®(イータブ・プラス)』イメージ

以 上